

平成 22 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 23 年 4 月

西部家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7 頁
11	不納欠損額調べ	7 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
22	事業別予算執行状況調べ	13 頁
23	家畜保健衛生事業	14 頁
○	意見、要望等	15 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項  
該当なし

(2) 監査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
西部家畜保健衛生所	衛生指導担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜保健衛生所法（昭和25年法律第12号）第3条の規定による家畜の伝染病の予防、家畜の試験、検査等に関する事。</li> <li>・獣医事に関する事。</li> <li>・動物薬事に関する事。</li> </ul>
	防疫担当	

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年4月1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
定員		0	0	11	11	0	0	11	11	
現員		( ) 0	( ) 0	( ) 9	(1) 10	( ) 0	( ) 0	( ) 9	(1) 10	
過不足(△)		0	0	△2	△1	0	0	△2	△1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	0	1	0	0	1	2	事務職1名

5 役付職員の調べ

（平成23年4月1日現在）

職名	氏名	在職期間	備考
所長	西谷公志	1年 月	
次長兼主幹	野田一臣	2	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算(見込)額 5,738千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 2,217千円</p> <p>一般財源 3,521千円</p> <p>その他 0千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 サルモネラ症などの人獣共通伝染病の浸潤状況調査や、動物用医薬品の適正使用の指導、飼料の実態調査・検査等を実施し、安全安心な畜産物の生産を指導するとともに、家畜の疾病の発生・まん延防止を図り、畜産農家の生産性の向上と経営安定を推進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①流通飼料対策 流通飼料の肉骨粉検査 1カ所1検体 : 検査予定</p> <p>②家畜衛生関連情報整備対策 家畜衛生情報の収集 : 臨床獣医師との情報交換(毎月)</p> <p>③診断予防技術向上対策 牛ヨーネ病の新しい診断技術を実証するための検査 1戸30頭 : 陰性</p> <p>④動物用医薬品危機管理対策 ・動物用医薬品販売業者への立入検査 : 41店舗を対象に実施予定 ・農家における薬剤耐性菌発現状況調査 肥育牛2戸、ブロイラー2戸、採卵鶏1戸 : (対象菌種)カビ<sup>o</sup>ハ<sup>o</sup>ク<sup>o</sup> ・動物用医薬品の検査 1店舗1品目(材料<sup>o</sup>ゲン) : 検査予定</p> <p>⑤地域衛生管理対策 ・乳房炎 85戸 : 多発農家の検査指導 ・豚丹毒 9戸 : ワクチン接種適期の指導</p> <p>⑥とっどりの肉牛哺育育成対策事業 42戸 : 哺育育成牛の管理指導 繁殖和牛の疾病管理指導</p> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b> ア(イ)の通常業務以外に、畜産現場の現状や要望等を勘察し、以下のテーマについて、所内プロジェクトチームを結成して、重点的に取り組んだ。</p> <p>①肉用牛繁殖農家の飼養管理改善対策 ②牛サルモネラ症の予防対策 ③中小規模養豚農家への生産性向上支援 ④US由来種鶏への飼養衛生管理対策 ⑤高病原性鳥インフルエンザ発生時の危機管理体制の構築</p> <p><b>ウ 成果</b> 4月の宮崎県での口蹄疫の発生、11月の島根県での高病原性鳥インフルエンザの発生、12月の米子市での野鳥での高病原性鳥インフルエンザウイルスの分離等に対する防疫対応が続いたが、効率的に通常業務を行うことができた。 イ②④等の事業により、指導した農家における家畜の疾病発生に減少傾向が見られた。特に、②の事業では、定期的に細菌検査を実施し、それに基づく衛生対策の指導を行った。その結果、農家の衛生意識が変わり、サルモネラ保菌率の改善に寄与した。(M農場のサルモネラ保菌率 20% → 0%へ改善)</p> <p><b>エ 課題</b> ・各事業の取り組み成果から、各農場の現状に即した衛生対策システムを指導・定着させることが今後とも必要である。 ・上記ア(イ)④の事業等により、耐性菌の検出農家等における動物用医薬品の適正使用等の重点指導が必要である。</p>

事業名	概	要
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算(見込)額 4,052千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 1,082千円 一般財源 2,970千円 その他 0千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査と発生時のまん延防止措置を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①監視伝染病の摘発状況</p> <p>家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条) 発生なし</p> <p>届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条)</p> <p>牛白血病 (牛 13頭) 牛サルモネラ症 (牛 2頭) 豚丹毒 (豚 2頭)</p> <p>②家畜伝染病予防法第5条による告示検査実施状況</p> <p>&lt;牛&gt; ○ ブルセラ病 : 1,344頭 ○ 結核病 : 704頭 ○ ヨーネ病 : 1,558頭</p> <p>&lt;馬&gt; ○ 伝染性貧血 : 162頭</p> <p>&lt;鶏&gt; ○ ひな白痢病 : 2,250羽 ○ マイコプラズマ病 : 2,250羽 ○ ニューカッスル病 : 2,250羽 ○ 高病原性鳥インフルエンザ : 829羽</p> <p>&lt;蜜蜂&gt; ○ 腐蛆病 : 214群</p> <p>③口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した、市町村との打合せ(5月・9月)、県境防疫検討会(10月)を実施した。</p> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <p>①今年度、国内で発生が見られた口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの管内発生時対策について、具体的な役割分担等に踏み込んだ打ち合わせを西部及び日野総合事務所と繰り返し行った。</p> <p>②牛白血病のと場での摘発が相変わらず続いており、農場の衛生状況を的確に把握するために、疫学調査、抗体検査を継続して積極的に行った。</p> <p><b>ウ 成果</b></p> <p>①概ね計画数量どおりの検査実績であった。また、定期的な消毒等の衛生対策により、重大な家畜伝染病の発生はなかった。</p> <p>②11月下旬の島根県安来市での高病原性鳥インフルエンザの発生に際しては、迅速な対応が奏功し、管内へのまん延を防止することに成功した。</p> <p><b>エ 課題</b></p> <p>①牛白血病ウイルスの管内の浸潤状況が明らかになったことから、まん延防止対策についての検討及び衛生指導の強化を行いたい。また食肉衛生検査所と一層緊密に連携する必要がある。</p> <p>②口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した危機管理体制について、関係部局や市町村と一層連携を強め、動員・物品調達・作業分担等の確認と協議を進める必要がある。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成22年12月31日現在)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	5	11,000	55,000	許可更新
	同上	同上	5	2,000	10,000	書換交付
	計(節)		10		65,000	
目計			10		65,000	
合計			10		65,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金  
該当なし

(2) 使用料

(平成22年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料		2	18,480	18,480	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	(社)鳥取県畜産推進機構、中国電力(株)米子営業所
	計(節)		2	18,480	18,480	0	0		
	目計			2	18,480	18,480	0	0	
合計			2	18,480	18,480	0	0		

## (3) 手数料

(平成22年12月31日現在)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
農 林 水 産 業 手 数 料	畜 産 業 手 数 料	家畜防疫手数料	187件	1,880,600	1,859,100	0	21,500	家畜伝染病予防法 鳥取県手数料徴収 条例
		結核病	(704頭)	168,960	168,960	0	0	@ 240
		ブルセラ病	(1,344頭)	322,560	322,560	0	0	@ 240
		家きんカルモリ感染症 (ひな白痢)	(2,250羽)	96,750	86,000	0	10,750	@ 43
		腐蛆病	(214群)	12,840	12,840	0	0	@ 60
		マイコプラズマ病	(2,250羽)	96,750	86,000	0	10,750	@ 43
		ヨーネ病検査(ヨーニン)	0	0	0	0	0	@ 100
		ヨーネ病検査(ELISA)	(1,558頭)	981,540	981,540	0	0	@ 630
		馬伝染性貧血検査	(162頭)	194,400	194,400	0	0	@1,200
		ひな白痢検査証明	0	0	0	0	0	@ 400
		マイコプラズマ病(Mg)検査証明	0	0	0	0	0	@ 400
		マイコプラズマ病(Ms)検査証明	0	0	0	0	0	@ 400
		馬伝染性貧血証明	(13件)	5,200	5,200	0	0	@ 400
		腐蛆病証明	(4件)	1,600	1,600	0	0	@ 400
		家畜保健衛生所手数料	12件	1,709,200	1,709,200	0	0	鳥取県家畜保健衛 生所の名称、位置 及び管轄区域等を 定める条例
		オーエスキー病検査(ELISA)	(0頭)	0	0	0	0	@2,390
		オーエスキー病検査(テックス)	(1,856頭)	1,707,520	1,707,520	0	0	@ 920
		馬インフルエンザ検査	(0頭)	0	0	0	0	@2,390
		各種証明(ホル共・B&W)	(0件)	0	0	0	0	@ 420
		各種証明(全共・装蹄師会)	(0件)	0	0	0	0	@ 420
各種証明(無病証明書)	(4件)	1,680	1,680	0	0	@ 420		
オーエスキー病検査証明	(0件)	0	0	0	0	@ 420		
馬インフルエンザ検査証明	(0件)	0	0	0	0	@ 420		
合計		199件	3,589,800	3,568,300	0	(1件) 21,500		

(4) 財産収入

(平成22年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入		1	1,018	1,018	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	水道供給施設用地
目計			1	1,018	1,018	0	0		
合計			1	1,018	1,018	0	0		

(5) 諸収入

(平成22年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	行政財産使用に係る電気代等	0	0	0	0	0	公有財産事務取扱要領	(社)鳥取県畜産推進機構
目計			0	0	0	0	0		
合計			0	0	0	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金の取扱状況

(平成22年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
家畜防疫手数料	1,610,990	検査手数料 1,604,190 (ブルセラ病 306,480、結核病 152,400、ヨーネ病 938,070、腐そ病 12,840、馬伝染性貧血 194,400)、検査証明手数料 6,800
家畜保健衛生所手数料	0	
合計	1,610,990	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

(平成22年12月31日現在)  
(単位：円)

収入科目 区分			過年度分							現年度分			収入未済額計 A+B	未收理由	
			前年度 からの繰 越額	左のう ちの収 入済額	不 納 欠 額	納 損 額	収 入 未 済 額 A	収 入 未 済 額 の 訳 内 訳	19年度 以前	20年度	21年度	調 定 額			収 入 済 額
目	節	細節													
農林水産業手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	1,880,600	1,859,100	21,500	21,500	納入期限： 平成23年1月6日 →同年1月6日納入済
		家畜保健衛生手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	1,709,200	1,709,200	0	0	
	計(節)			0	0	0	0	0	0	0	0	3,589,800	3,568,300	21,500	21,500
目計			0	0	0	0	0	0	0	0	3,589,800	3,568,300	21,500	21,500	
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	3,589,800	3,568,300	21,500	21,500	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ  
該当なし

11 不納欠損額調べ  
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成22年12月31日現在)  
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
(家畜保健衛生費)								
支出金額が10万円未満のもの						14,000		黒坂地区安全運行 管理者協議会会則
目計						14,000		
合計						14,000		

(2) 補助金  
該当なし

(3) 交付金  
該当なし

(4) 委託料

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納付 等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考	
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額		
				変 更 契 約 ( 最 終 )	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間							契 約 形 態
(家畜保健衛生費)	単県	安全キャビネット 保守点検	鳥取サイエンス 株式会社	467,000	(H22.9.3)	H22.9.3	H22.9.3	H22.10.8	精算	H22.10.29	458,850		
					458,850	H22.11.30	( - )						
					( )	~	随	H22.10.8					
予定価格が20万円 未満のもの												79,800	
目 計												538,650	
合 計												538,650	

13 工事請負費調べ  
該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成22年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	西部家畜保健衛生所用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	2,438.62	不明	増加	H				H	2,438.62	不明	
					減少	H				H			
	"	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16	727.00	0	増加	H				H	727.00	0	
					減少	H				H			
計			3,165.62	不明						3,165.62	不明		
普通財産	西部家畜保健衛生所用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	10.58	不明	増加	H				H	10.58	不明	
					減少	H				H			
計			10.58	不明						10.58	不明		
合計			3,176.20	14,088,003						3,176.20	14,088,003		

溝口町(現伯耆町)から無償譲渡

6 イ 建物

(平成22年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	西部家畜保健衛生所舎	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16,17	640.10	262,045,058	増加	H				H	640.10	262,045,058	
					減少	H				H			
	解剖棟	"	96.00	262,045,058	増加	H				H	96.00	262,045,058	
					減少	H				H			
	倉庫棟	"	34.00	262,045,058	増加	H				H	34.00	262,045,058	
					減少	H				H			
	車庫棟	"	90.00	262,045,058	増加	H				H	90.00	262,045,058	
減少					H				H				
計			860.10	262,045,058						860.10	262,045,058		
普通財産	該当なし				増加	H				H			
					減少	H				H			
合計			860.10	262,045,058						860.10	262,045,058		

ウ 山林  
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし

オ 物権  
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）  
該当なし

キ 有価証券  
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成22年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 36,400	円 24,000	円 38,080	円 22,320	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	4,200	4,200	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	36,400	28,200	42,280	22,320	

イ タクシーチケットの受払状況  
該当なし

(3) 債 権

(平成22年12月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				差 引		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
財産貸付収入	円 0	0	円 4,072	1	円 0	0	円 4,072	1	H22.4.1 ~H27.3.31
行政財産使用料	10,500	1	0	0	10,500	1	0	0	H18.4.1 ~H23.3.31
合 計	10,500	1	4,072	1	10,500	1	4,072	1	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成22年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)的 目的	所在地	数量 又面積	貸付(使用許可) 年月日	当初貸付(使用許可) 年月日	貸付(使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	給水管敷設	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	7.075㎡	H21.4.1	H17.3.24	H21.4.1~ H26.3.31	月額・年額 0	0	西伯郡伯耆町吉長37番地3 伯耆町長	減免申請の為
	電柱・支線	〃	各1本	〃	〃	〃	月額・年額 0	0	〃	〃
	電力供給施設 設置	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	共架柱1本 支線3条 支線柱3本	H18.4.1	H12.8.3	H18.4.1~ H23.3.31	月額・年額 10,500	10,500	米子市加茂町2丁目51番地 中国電力株式会社米子営業所 所長	
計							10,500			
普通財産	水道供給施設 用地	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	10.58㎡	H17.4.14	H17.4.14	H22.4.1~ H27.3.31	月額・年額 1,018	1,018	西伯郡伯耆町吉長37番地3 伯耆町長	
計							1,018			
合計								11,518		

イ 建物

(平成22年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)的 目的	所在地	数量 又面積	貸付(使用許可) 年月日	当初貸付(使用許可) 年月日	貸付(使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	(社)鳥取県畜産推進機構の薬品保冷库設置場所	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	1.0㎡	H22.4.1	H21.4.1	H22.4.1~ H23.3.31	月額・年額 7,980	7,980	鳥取市東町1丁目220番地 (社)鳥取県畜産推進機構 会長	
計							7,980			
普通財産	該当なし						月額・年額 0	0		
計							0			
合計								7,980		

(2) 物品  
該当なし

16 借受不動産明細調べ  
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅  
該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	12.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政財産)

月別	月初日	減		増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人			
4月	11人					11人	11人	0円	/	/
5月	11					11	11	0		
6月	11					11	11	0		
7月	11					11	11	0		
8月	11					11	11	0		
9月	11					11	11	0		
10月	11					11	11	0		
11月	11					11	11	0		
12月	11					11	11	0		
1月										
2月										
3月										
合計								0	0円	0円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

22 事業別予算執行状況調べ

目名	農業総務費	(平成22年12月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
新規採用職員宿泊研修	(事業概要) 新規採用職員の農家宿泊研修	

目名	畜産総務費	(平成22年12月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
職員人件費	(事業概要) 非常勤職員（獣医師）に係る報酬及び共済費	
畜産関係機関等連絡調整事業	(事業概要) 職員の中央畜産技術研修（福島県） 新規採用職員の職員人材開発センター主催研修	

目名	家畜保健衛生費	(平成22年12月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
家畜衛生対策事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜伝染病予防事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	(事業概要) 家畜保健衛生所の円滑な運営を図った。	

目名	財産管理費	(平成22年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県有施設営繕事業	(事業概要) 庁舎施設のガス設備取替	

## 2.3 家畜保健衛生事業

### (1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成22年2月1日		前年同期		備考(増減)	
乳用牛	77戸	4,142頭	85戸	4,291頭	△8戸	△149頭
肉用牛	240戸	3,677頭	261戸	3,850頭	△21戸	△173頭
豚	14戸	49,837頭	14戸	50,955頭	戸	△1,118頭
採卵鶏	16戸	195,008羽	15戸	214,810羽	1戸	△19,802頭
ブロイラー	31戸	968,250羽	34戸	1,138,800羽	△3戸	△170,550羽

### (2) 各事業別の実施状況調べ

(平成22年12月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜保健衛生所運営事業	種畜検査	検査	4月～11月	管内一円	—	豚 34頭 牛 1頭	
	病性鑑定	検査	4月～3月	〃	—	頭・羽 2,702	乳用牛389頭、肉用牛988頭、豚7頭、鶏1,318羽、その他2
家畜衛生対策事業	流通飼料対策	収去検査	2月	〃	1戸 1検体	戸 検体	飼料中の肉骨粉検査
	家畜衛生関連情報整備対策		4月～3月	〃	12回	9回	
	診断予防技術向上対策	検査指導	4月～3月	〃	1戸 30頭	1戸 30頭	3-病検査
	動物用医薬品危機管理対策	検査指導	4月～8月	〃	5戸	5戸	かび・ロバクター検査
		収去検査	2月		1店舗 1品目	1店舗 1品目	医薬品品質検査
		立入検査	2月～3月		全店 41店舗	全店 店舗	
		許認可等	随時		—	21件	医薬品 19件 医療機器 2件
地域衛生管理対策	検査指導	4月～3月	〃	乳牛 85戸 豚 14戸	乳牛 85戸 豚 9戸	乳房炎(大腸菌、SA)の検査及び豚丹毒の検査とワクチン接種指導	
とつとりの肉牛牛哺育育成対策	〃	4月～3月	〃	肉用牛240戸	肉用牛42戸	カルネラ検査、材ネラ検査、初乳摂取状況調査	
中小家畜生産・出荷調査事業	養蜂対策	調査指導	4月～3月	管内一円	—	21戸 592群	県外より 2戸 65群 県内 19戸 527群
	肉豚出荷動向調査	調査指導	4月～3月	管内一円	—	14戸	毎月

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病 予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	1,950頭	1,344頭	告示検査 1,344頭
	結核病	"	"	"	885頭	704頭	告示検査 704頭
	ヨネ病	"	"	"	2,365頭	1,558頭	告示検査 1,558頭
	ヨネ病（清浄性）	"	"	"	165頭	頭	
	牛伝染性疾病	"	"	"	8,200頭	11,769頭	
	豚伝染性疾病	"	"	"	51,000頭	79,048頭	
	鶏伝染性疾病	"	"	"	136,000羽	106,500羽	
	馬伝染性疾病	"	"	"	200頭	251頭	
	羊伝染性疾病	"	"	"	70頭	50頭	
	ひな白痢	"	"	"	3,000羽	2,250羽	全て告示検査
	マイコプラズマ病	"	"	"	3,000羽	2,250羽	全て告示検査
	ニューカッスル病（種鶏）	"	"	"	4,350羽	2,250羽	全て告示検査
	ニューカッスル病（その他）	"	"	"	1,350羽	900羽	
	馬伝染性貧血	"	5月～7月	"	170頭	162頭	全て告示検査
	腐蛆病	"	7月～12月	"	150群	214群	
	牛流行熱・バクテリウム病等抗体	"	6月～11月	"	96頭	80頭	
	オースキー病	"	4月～3月	"	1,390頭	1,397頭	
	PRRS抗体	"	"	"	920頭	660頭	
	PED・TGE	"	"	"	920頭	680頭	
	豚コレラ抗体	"	"	"	920頭	1,390頭	
	高病原性鳥インフルエンザ	"	"	"	500羽	829羽	全て告示検査
	牛白血病	"	"	"	1,050頭	727頭	
	牛カリネラ症	"	"	"	3,600頭	1,399頭	
	豚カリネラ症	"	"	"	280頭	60頭	
	鶏伝染性気管支炎	"	"	"	270羽	200羽	
	鶏伝染性ファブリキウス嚢病	"	"	"	270羽	200羽	
鶏カリネラ症	"	"	"	49羽	61羽		

※告示検査（家畜伝染病予防法第5条）以外は全て同法第51条による立入検査。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等  
なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等  
なし